ARIMA CROSS STUDY PLAN

第2学年

研究主題

みんなで協力し、たくさん経験して、
自分たちの力で夢を実現しよう
～関わりあい・語りあい・高めあい～

生活科

道徳

×

各教科等

学校教育活動

町の　すてきを　つたえたい

「とび出せ！ 町のたんけんたい」「もっと 知りたい たんけんたい」の活動から、地域の良さや特徴を自らの力で発見し、調べた情報の活用に向けての興味・関心を高める。「町の すてきを つたえたい」では、それまでの活動をきっかけに、地域で働く人たちがどのようなことを発信してほしいかについてインタビュー等を行う。活動を通して「聞くことから始めるコミュニケーション」の素地を育むことに繋げていく。地域の良さを伝えるためにはどうしたら良いかということを全体の問いとしてもち、調べた情報をどのように発信していくかを子どもたち同士の話し合いの中で見つけだし、協力して活動することから自力解決することができるという自分たちの良さに気づかせたい。

学級活動

1年生との交流活動

2年生が企画・運営を行うレク交流会の実施や、どんぐり工作、いきものランドやおもちゃランドなどの活動を通して自分たちの良さに気づき、自らの自己肯定感を高めることに繋げていく。また、それとともに仲間と協力して活動する良さを感じさせたい。1年生のためにできることを主軸に考え、みんなで協力して活動することを通して、2年生だけでなく、1年生にとっても価値ある活動になるように繋げていきたい。

算数

自由進度学習

自らの力で課題を発見し、課題解決のためにできることを考える。自由に課題と向き合える環境から、自力解決や友達との会話の中で「課題を解決したい」という意欲を継続的にもつよさに気づかせたい。

道徳

「どうして うまくいかないのかな」

将来の自己実現に向けて、自分の良さを見つけることを大きなねらいとする。児童の実態から感じられる「良くなりたい」という気持ちを大切にするとともに児童自身が思う「こうなりたい」の実現に向けて、自分の良さと向き合おうとする心情を育てたい。また、不完全な存在であることから「周りの人との協力や支え合いが必要である」ことにも目を向けさせ、自己実現を目指すにあたり、協力や支え合いが不可欠であることに気づかせたい。

学習発表会

これまでの学習の軌跡や、仲間と協力して取り組んできた活動の集大成になるようにする。子どもたち自身が主体となって発表することを通して自分たちのよさに気づかせるとともに自信をもたせたい。

運動会

表現運動に取り組む際、振り付けを全員で合わせることや、全体との調和を意識して列を整えることなどを通して「一体感」を体験的に感じさせたい。

学年の目指す児童像

①お互いの話を最後まで聞きあい、考えをつなげられる子（知）
②相手の気持ちを考える子（徳）
③体の調子を整えて体を動かすことを楽しむ子（体）